

## 【事業概要】

平成 28 度は公益法人後 5 年を迎え、不特定多数を対象とした公益事業の推進とその充実を図る事を重要課題とする。そのため、管理栄養士・栄養士の育成事業は、基幹研修、拡充研修ともに専門職業人としてキャリアアップを図り高度な専門知識・技術の習得を目指すことに重点を置き、県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の達成と正しい知識の普及と実践への支援を進める。さらに栄養の指導や支援を通して県民の個々の健全な食生活を支える地域社会作りと公衆衛生の向上に寄与する事業の展開を計画・実施した。

食と栄養の科学および実用技術を振興させる事業であり、第 42 回福岡県栄養改善学会を開催し、栄養指導・食事療法・栄養管理に関する調査研究および業務の成果や新しい試み（実践）など 17 演題が発表された。特別講演は、「脳機能と栄養・食事～食育から認知症まで～」について、食べ方や食生活の変化と脳機能を研究テーマとしている東北大学加齢医学研究所所長 川島隆太先生に講演いただいた。朝食の内容や質が、子供の将来にどのように影響するのかをわかりやすく、興味深いテーマであった。また、認知症が増加している超高齢社会における食環境などについても講義していただいた。400 名余りの参加者が脳機能と食事・食環境について基本を学んだ。

### 1. 栄養の科学と技術の振興事業

本事業は、県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究と料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、および、県等の健康政策立案への貢献などを通して、食と栄養の科学及び実用技術を振興させる事業である。

平成 28 年度の事業は以下の通りである。

#### ・第 42 回福岡県栄養改善学会

これまでの最多の 17 演題の発表があった。超高齢社会での食の問題を中心とした、経口維持への取組や、非経口栄養療法、嚥下調整食や地域包括ケア推進における管理栄養士の役割のほかに、離乳食訪問事業や、保育所幼児の腸内環境の状況報告などが発表された。

### 2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成

本事業は、県民の QOL の向上、健康寿命の延伸を目的に、県民が質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的スキルとともに、一人ひとりのかけがえない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、生涯教育制度として実施される諸種の研修事業であり、基幹研修事業と拡充研修事業とからなる。

平成 28 年度の事業は以下の通りである。

#### (1) 基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とした。

#### ・生涯教育研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「根拠に基づいた栄養管理」「栄養の指導」や「栄養管理の実施・モニタリング・評価・管理記録」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基幹研修の中軸をなす研修会である。初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場として開催した。

平成 28 年度の研修内容は、次の研修を行った。

- ①「生涯教育制度になぜ認定が必要か-ステップアップの目標設定とマイキャリアの作り方-」
- ②「多職種連携ではたすべき管理栄養士・栄養士の役割-みんなで行う栄養管理-」
- ③「摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎-栄養士は何をする?-」
- ④「地域連携と地域包括ケア-地域包括ケアのコンセプトを学ぶ-」
- ⑤「職業倫理と栄養ケア-人生を支える食と栄養-」
- ⑥「業務に生かせる！疾患ガイドラインのポイント」
- ⑦「現状の衛生管理・感染症対策で大丈夫？-自施設の衛生管理を再確認しよう-」
- ⑧「まずは基本から！食事・栄養管理の対象者把握と栄養食事基準、食品構成作成のポイント」
- ⑨「演習食事・栄養管理の対象者把握と栄養食事基準、食品構成作成のポイント」
- ⑩「栄養診断を理解して、計画の立て方を学ぶ-栄養士がマスターすべき栄養補給法-」
- ⑪「対象者に実施するスクリーニングとアセスメントを完全習得 -考える力をつけよう-」
- ⑫「あなたはそのリスクに気づいていますか？栄養管理のリスクコントロールを可能にするマネジメント講座 -栄養管理・給食管理の質を左右するマネジメントを学ぶ-」
- ⑬「演習栄養管理・給食管理の質を左右するマネジメントを学ぶ-」
- ⑭「災害時の対応と食事提供」
- ⑮「栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養評価に基づいた管理計画」
- ⑯「演習 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養評価に基づいた管理計画」
- ⑰「報告の際に役立つ統計の基礎知識～平均の一つ覚えから卒業」「楽しい統計学と研究デザイン ～論文を読み解く～」

この研修会は県内の 4 地区（福岡、北九州、筑後、筑豊）で 7 回開催した。

また、平成 28 年度診療報酬改定に対応した研修会として下記を計画・開催した。

- ⑳「診療報酬対応研修 地域包括ケアにおける栄養管理の連携」

#### ・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基本研修として県内の 3 地区（北九州、筑後、筑後）において 3 回開催した。

研修内容は

- ⑱「今さら聞けない！消化と吸収の基本とメカニズムについて」
- ⑲「地域で人と自分を大切にする“食”を考える」
- ㉑「生活習慣病とがん予防 医療事業部共催」などである。

## (2) 拡充研修事業(実務研修) (特定職域その他の研修事業)

拡充研修は、基幹研修を補完し発展させる位置づけの研修とした。医療・福祉・公衆衛生・研究教育・学校健康教育・地域活動の7職域の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催した。

平成28年度の職域ごとの研修会は以下の通りである。

- ・医療事業部研修会
  - ⑲「循環器疾患 脂質異常症の最近の話題～脂質異常症の病態生理・治療・食事指導まで～」  
筑後支部共催
  - ⑳「周術期の栄養管理～侵襲と生体反応～」 「心不全～症状の観察と栄養管理」
  - ㉑「糖尿病を極める～患者が変わる！療養指導～」
  - ㉒「肝疾患～知っておきたい肝疾患のすべて～」
  - ㉓「がんの栄養管理の実際 周術・化学療法と放射線療法・緩和ケア」  
「栄養評価に基づいた栄養指導をしよう～栄養評価とケアプロセス～」
  - ㉔「病院栄養士必聴研修会」
- ・学校健康教育事業部研修会
  - ⑳「対象者に合わせた情報提供方法～すぐに役立つ、食育指導教材の作成と活用方法を学ぶ」
- ・公衆衛生事業部研修会
  - ㉕「特定給食施設における栄養管理～給食施設におけるPDCAサイクルに基づく栄養管理」  
地域活動事業部研修会
  - ㉖「地域連携～在宅訪問栄養指導～その具体的な支援を調理形態も含めて学ぼう～」  
福祉事業部研修会
  - ㉗「COPDとサルコペニア～業務に役立つサルコペニアとCOPDにおける栄養管理の理解と実践～」
- ・研究教育事業部研修会
  - ㉘「行動変容へ導くためのアプローチ～行動変容につなぐ栄養教育～」  
勤労者支援事業部研修会：(平成28年度は、他事業部研修共通研修とする為、今年度なしとする。)

## (3) 研修に関わる付随事業

### ・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行

平成28年度診療報酬改定に伴い「病院等栄養管理の基本と実際」を4月に改訂した。

また、施設基準の変更に伴い、一部改定版を平成29年2月に発刊した。

研修会で活用し、管理栄養士・栄養士への頒布・販売を実施した。

### ・研修会案内(広報部)

当会が計画する研修会情報を「栄養ふくおか」として年4回、案内葉書として年1回を作成・送付し、会員や県民の研修機会拡大を図った。

### ・日本栄養士会 会員WEBサービスの運用(広報部)

日本栄養士会が運営する会員WEBサービスシステムを利用し、会員や県民に研修会情報を提供した。

### 3. 健全な食生活のための県民の自律の支援（県民支援部）

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める目的で事業を行った。

また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業を行った。

平成28年度の事業は以下の通りである。

#### (1) 栄養ケア・ステーション事業

栄養ケア・ステーションは、市町村や医療機関（診療所）、社会福祉施設等に栄養に関する業務について協力する事業であり、地域住民の健康維持・増進及び疾病予防・治療に寄与することを目的とするものである。28年度の主な実施内容は、以下の通りである。

- ①高齢者食生活改善事業（北九州市） ②認知症支援・介護予防センターにおける栄養相談（北九州市） ③きたきゅう健康づくり応援店アドバイザー（北九州市）
- ④食生活改善推進事業（志免町） ⑤妊婦教室（北九州市） ⑥介護予防講座（筑紫野市）
- ⑦クッキングセミナー（西部ガス） ⑧酪農体験ちびっこファームステイ（福岡県酪農業協同組合）
- ⑨調理補助養成講座（福岡県シルバー人材センター連合会）
- ⑩介護講座講師派遣（福岡県社会福祉協議会）
- ⑪管理栄養士による在宅療養患者への栄養アセスメント等実施業務（北九州市）

#### (2) 平成28年糸島市在宅医療・介護連携コーディネーター育成研修事業（糸島市委託事業）

糸島市からの委託により、高齢者保健福祉介護保険事業計画に基づき行う事業を支援する担い手となる在宅医療・介護連携コーディネーターを育成し在宅医療等に係る事業に従事することを希望するものに対し様々な知識や技能を習得するための研修会を3回実施、又関係団体（理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会）の連携の研修会を1回、現在コーディネーターとして参加の栄養士の研修会を1回開催し、資質の向上をはかった。3月末に最終日に行ったアンケート結果を含め糸島市に報告した。

#### (3) 地域包括ケア会議推進支援事業

市町村が構築する地域包括ケアシステムを支援するため、市町村が開催される地域ケア会議にアドバイザーを派遣した。

#### (4) イベントにおける栄養相談事業

県民が多く集まる機会（イベント）において栄養相談・食事指導を行い、県民の食の自律を図るものであり対象は県民一般である。

- ・健康 21 世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を目ざし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催した。福岡支部担当で、10月16日（日）イオンモール筑紫野にて実施。栄養相談、食事バランスチェック、フレイルチェック来場者 280 名

- ・地域健康フェア

市町村・医師会・薬剤師会・自治会・地域諸団体と連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、実施した。

- ・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指して毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後、筑豊の4地区で開催した。

- ・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として開催した。

#### (5) 市民公開講座（セミナー）

県民の健全な食生活を自立的に営む力を育むために、栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が知識や知恵、実用技術の普及を行う事業である。

- ・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行なった。本年度は参加者の増加がみられた。時節を捉えたテーマの選び方や、講師の入れ替わりなどを積極的に図り、常に新鮮な内容になるべく努力していきたい。

- ・健康セミナー

本会および看護協会、放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を2月18日（土）にナースプラザ福岡にて「災害時における医療の役割」～熊本災害を中心に～でセミナーを実施。

また、「食と健康推進フォーラム」は、県民が自主的に取り組むことができる健康づくりを支援し、県民の健康に寄与することを目的に2月1日に開催され、参加者445人と「食と健康」についての県民の意識の高さがうかがえた。

#### ・県民料理教室

県民に対して、「高齢者の健康に関する料理教室」という位置付けで、地域活動事業部が主体で企画運営をした。県民に周知不十分で栄養士会々員の参加のほうが多かった。筑豊支部で開催したが、後期日程になるにつれ県民の参加も若干増えてきたのは、次年度に向けて希望がもてる。費用対効果も含め、継続・定着させるべく努力をしていきたい。

### (6) 栄養情報コミュニケーション事業（広報部）

#### ・ホームページ事業

健康づくりや食育など県民を対象とした地域イベントの案内や栄養士による季節に応じた献立・県産農産物を使った料理レシピを掲載した。また、「栄養ふくおか」と連動し、地域における栄養ケア活動への積極的な参加を呼び掛けた。

平成 28 年度：ページビュー数 (PV) 190,371、訪問数 61,226 (平成 29 年 3 月 31 日現在)  
前年度に比べ、ページビュー数 (PV) 1.08%増、訪問数 3.17%減となる。リピーターが 6 割を占めており、タイムリーな情報提供が求められる。

## 4. 県民の健康を育む食環境の整備

県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人・物・仕組み）を有機的に結び付けその機能を改善・活性化させることにより、望まし食環境の整備を図る事業である。各行政機関における各種委員会や協議会等には積極的に参画し委員会を通じた連携・協働関係の構築に協力し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与した。

今年度の参画した主な委員会・協議会数は 18 会議である。

## 5. 法人運営・管理

重要な意思決定会議および主要な法人事業の運営に関しては、総会を平成 28 年 6 月 4 日、平成 28 年度福岡県栄養士大会・第 42 回福岡県栄養改善学会を平成 28 年 10 月 2 日に開催した。重要な意思決定会議（理事会）を年 6 回開催した。